

ハローワーク川崎での自衛隊個別相談会



所長及び広報官の説明を熱心に聞く対象者

自衛隊神奈川地方協力本部川崎出張所（所長 海老原一陸尉）は6月19日（金）、ハローワーク川崎の協力を得て、自衛隊個別相談会を初めて開催した。年度初めの4月から開催予定だったが、新型コロナウイルスの影響で延期されており、今回は感染拡大防止策として消毒液やシールドを準備し初開催の運びとなった。事前にホームページを確認し説明を聞きに来た対象者は、熱心に広報官の説明に耳を傾けていた。

川崎出張所は「今後もハローワーク川崎の協力を得て、自衛隊個別相談会を毎月第3金曜日の0900～1700で実施していく予定である」としている。

市内の県立高校を訪問し、自衛官募集に対しての激励を受ける



左から、小林校長、西尾教諭、平原所長

自衛隊神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 平原一陸尉）は、6月24日（水）横浜市内の県立瀬谷西高校を訪問した。例年7月1日の募集解禁前に学校教諭等に対し年度募集要項等を説明しているもので、当日はキャリア支援グループの西尾教諭に対応していただき、自衛隊制度等を説明するとともに、ポスター掲示やリーフレット設置等を依頼した。説明後に小林校長とも面会し、自衛隊と学校の現状等について意見交換した。校長からは「自衛官募集も少子化で大変でしょうけど、頑張ってください」と激励していただいた。また西尾教諭からは、今年就職先に自衛隊を検討している学生も数名いるということで、学生対応を依頼された。今後も学校との連絡を密にとり、学校での個別説明会やつなぎ広報等を計画し、志願から受験、入隊へと導いていきたい。

横浜中央募集案内所は、「学校訪問やイベント案内などにより、学校との良好な関係を深化させ、対象者情報を獲得し、募集成果向上に努めていきたい」としている。